



きらり

重点目標

「よく考え チャレンジし 一歩前へ」

ミッション

「すべての児童の可能性を引き出し伸ばす」



ふくしま学力テスト!

ふくしま学力テストの県全体の結果が、11月22日に発表されました。その結果の児童質問紙調査から「認知的方略」(新しいことを勉強するとき、今までに勉強したことと関係があるかどうかを考えながら勉強する。)が県全体の結果より本校が高いことが分かり、大変うれしく思います。学んだことを使う学習は、より確かな学びにつながります。今年度の市教育委員会の重点事項にもなっています。しかし、「努力調整方略」(分からないところも諦めずに継続して学習する)、「作業方略」(大切なところを繰り返し書く)が低い結果になりました。

自己マネジメント力!

「努力調整方略」、「作業方略」を高めるために、「自己マネジメント力」を身に付ける必要があります。「自己マネジメント力」とは、テレビやゲーム、スマホなど誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組み、R-PDCAサイクルを通して「自分で学習や生活を改善する力」です。

例えば、テストで間違ったところを解決する場合には、下の吹き出しのようなサイクルになります。このサイクルをまわすためには、保護者の声かけが必要です。家庭での支援をよろしくお願いいたします。

Research (自分の課題を客観的にとらえる)

できないところがあるな。

Plan (自分の課題にそった目標や計画をたてる)

一日3つ、教科書のみて解決するぞ。

Do (計画に沿って主体的に学習する)

さあ、今日もがんばるぞ。

Check (確かめる)

一日1つしか解決できない日が多かったな。

Action (学習の内容・方法を見直し、修正する)

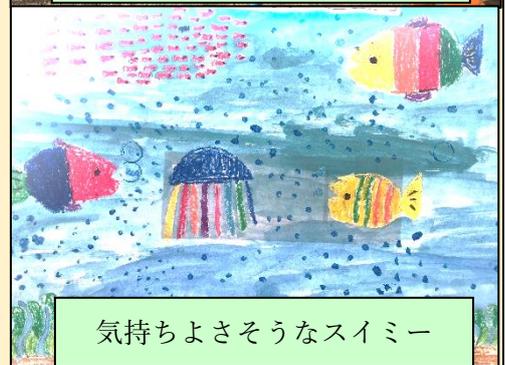
できないところを1日1つ先生に教えてもらい、家庭学習で復習するぞ。



朝、自主的に清掃する6年生



業間、寒さに負けず



気持ちよさそうなスイミー

